

杉並区議会副議長に就任

皆さまには日頃より温かいご支援を戴き、心より御礼申し上げます。
さて、5月31日の区議会臨時会におきまして第71代杉並区議会副議長に就任いたしました。区議会の代表としての大任を拝し、身の引き締まる思いです。
杉並区も7月の区長選挙で田中新区長が誕生し、新たなスタートが切られました。
地方分権、地域主権が論議され、自治体のあり方が問われる時代です。
常に先進的な施策を実施し、他の自治体をリードしてきた杉並区政の益々の発展。そして、何よりもこの激動の時代において、区民



のみなさまの生活と安全を守るべく全力で取り組みます。存じます。今後とも渡辺ふじおの議会活動にご理解ご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

渡辺ふじおの

実績報告

救急情報キットの配布開始

昨年の第3回定例会において、災害時要援護者（高齢者、障がい者）の安全確保の一環として、医療情報、診察券等を入れた「救急情報キット」の配布を提案しました。

区としても要援護者への支援に有効であると判断し、半年間の検討・研究を重ねて、7月末より民生委員が聴き取りをしながらの「救急情報キット」の配布が開始されました。



対象は要介護者と障がい者の方で、「地域たすけあいネットワーク（地域の手）」に登録されている方です。救急情報キットのポトルを冷蔵庫へ保管し、緊急時に到着した消防隊員や区の職員、要介護者支援員がその情報によって迅速な処置が



渡辺ふじおの提案 杉並まるごとWi-Fi化計画

今年の第1回定例会において、最近iPhoneやiPadなどで話題となっているWi-Fiについて質問、提案しました。情報化社会においてネット環境の整備は、行政も無関係ではいられない状況となっています。この社会インフラとも言えるネット環境を無線LANで構築することが、地域Wi-Fi化です。これによって、電話回線では限界のある大容量の情報やりとりできるようになります。欧米では、かな

り早くから取り組みが始まっていますが、まだ日本国内では本格的に取り組んでいる自治体はありません。特に、杉並区の人口で最も割合の高い20代、30代の方から要望を頂きました。行政の恩恵がなかなか受けられない世代の方たちへの施策としては、実現させていく価値は十分あると考えます。電波法の問題や個人情報などのセキュリティの問題など、解決すべき課題はありますが、区民サービス向上のためにも、ぜひ実現していきたいと思っております。



できるようになります。

電子地域通貨が実現へ

これまで区と連携しながら約7年にわたって、カード事業の研究を行ってきました。

昨年、事業化提案制度において、民間企業の提案が採用され、今般、電子地域通貨等を実施するための杉並マルチカードの導入が決定し

ました。

これによって、商店街活性化等の地域活性化や行政の効率化、区民サービスの向上など様々な効果が期待できます。

現在、杉並区は商店会連合会などの団体、フェリカ、JRスイカ等の民間企業、大学等と連携し事業化へ向けて研究を重ねています。今後、進捗状況を報告したいと思います。